



公益財団法人 日本盲導犬協会

活動指針

「目の見えない人、見えにくい人が、行きたい時に、行きたい場所へ行くことができるよう、安全で快適な盲導犬との歩行を提供します」という使命を掲げ、盲導犬育成事業および視覚障がいリハビリテーション事業を通して、視覚障がい者福祉の増進に寄与することを目的としています。



団体の特徴

当協会は、盲導犬育成団体として日本で初めて1967年に厚生省(当時)の許可を受けて設立されました。現在、神奈川訓練センター(横浜市)、仙台訓練センター(仙台市)、日本盲導犬総合センター(富士宮市)、島根あさひ訓練センター(浜田市)の全国4施設を拠点として盲導犬育成事業・リハビリテーション事業を行っております。

主な活動内容

- 盲導犬訓練施設の設置運営
- 盲導犬歩行指導員、盲導犬訓練士および飼育管理員の養成
- 盲導犬育成に関する調査および研究
- 視覚障がい者福祉諸団体との連携および協力
- 視覚障がい者の社会的生活能力の改善・向上を図るための相談、指導、助言および各種訓練
- その他この法人の目的を達成するために必要な事

ご寄付いただいた場合

◆寄付金は寄附金控除の対象になります。

- ・11月末日頃、寄付金の領収書を郵送します。
寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄付金の領収書を添付してください。

◆活動内容を報告します。

- ・会報誌「盲導犬くらぶ」(年4回)を郵送します。

◆その他

- ・訓練センターで実施する「センター見学会」のご案内を郵送します。
※センターへの交通費等は自己負担となります。

盲導犬体験のできる見学会

多くの皆さまに視覚障がいや盲導犬についてご理解をいただくため、訓練センターでは、見学会を実施しています。見学会では、盲導犬PR犬によるデモンストレーションを行っており、盲導犬の仕事や視覚障がいについて詳しく解説したり、街で盲導犬に出会った時のマナーなどをお伝えしたりしています。
※ご案内する見学会以外の開催もありますので、各訓練センターの見学会の詳細は、当協会のホームページで確認ください。

団体連絡先

公益財団法人 日本盲導犬協会(東京事務所)

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F 渋谷YTビル02
TEL:03-5452-1266(平日9:00~18:00) FAX:03-5452-1267
Mail:info@moudouken.net URL:http://www.moudouken.net/

ご支援でできること

当商品を通じた寄付金は、盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参加を促進する事業の活動資金として活用します。

日本盲導犬協会の活動

良質な盲導犬を1頭でも多く安定的に育成します。

安全で快適な盲導犬との歩行を提供するためには、良質な盲導犬を育成する必要があります。また、盲導犬を希望する方に対して、盲導犬の育成頭数が絶対的に不足している現状では、育成頭数の拡充も切実な課題です。



〈盲導犬の育成〉

●繁殖

盲導犬の資質は、遺伝によるところが大きく、繁殖犬の確保は盲導犬育成の課題の1つです。繁殖犬の血統を確保するため、凍結精液の作成と人工授精にも取り組んでいます。

●出産/飼育

母犬や子犬たちのための衛生的な環境と飼育体制を整えています。

●盲導犬訓練

盲導犬候補犬の訓練を行います。施設内や市街地で約半年~1年の訓練を進めていきます。

●共同訓練

目の見えない方、見えにくい方が盲導犬と安全に歩き、一緒に生活するために、盲導犬歩行指導員が指導します。

●引退犬

盲導犬の一生に責任をもって飼育するため、引退犬がゆったりと余生を過ごす場所を整えています。

安定的な盲導犬育成を行うためのシステムづくり

- 厚生労働省から公表されている身体障がい者の実態調査によると、障害者手帳を持っている視覚障害者(弱視・全盲の合計)は、全国に約30万人です。そのうち、将来盲導犬を持ちたいと希望されている方はおよそ3,000人*とされています。それに対し、日本全国で活躍している盲導犬は928頭(2019年3月末現在)とまだまだ不足しています。
※全国盲導犬施設連合会と日本盲導犬協会の研究調査による推計(2011年)
- 日本盲導犬協会は、慢性的な盲導犬不足を解消し、「安定的な育成を行うためのシステムづくり」として、訓練技術の向上はもとより、盲導犬の安定的な育成を行うために、繁殖・出産施設の充実を図ると同時に、人材育成にも力を注いでいます。良質な盲導犬育成にはかせない、総合的な育成システムづくりを目指しています。

〈日本盲導犬協会の各訓練センター〉

◆神奈川訓練センター

盲導犬訓練の中心的施設、常時およそ60頭の訓練犬があり、4訓練センター内でも職員数、訓練犬頭数が最多の活気ある施設です。

◆仙台訓練センター

東北で唯一の盲導犬育成施設として、「盲導犬育成」と「視覚障がいリハビリテーション」を総合的に行っています。視覚障がいリハビリテーションにも注力し、目の見えない人、見えにくい人の生活の質(QOL)の向上と充実のため、東北6県・新潟を網羅して活動しています。

◆日本盲導犬総合センター(富士ハーネス)

“盲導犬の里 富士ハーネス”という愛称で親しまれ、盲導犬の一生をトータルにケアすることを目的とした、国内で初めての施設です。盲導犬や視覚障がいに関する情報などを世界中に発信するために設立され、水曜日と年末年始を除く毎日見学することができます。

◆島根あさひ訓練センター

協会4つめの施設として2008年にオープンし、法務省のPFI事業に協力し、「島根あさひ盲導犬パピープロジェクト」が進行中です。中国・四国エリアで初めての盲導犬育成施設であり、地域の視覚障がい者福祉向上の牽引力としても期待されています。